



東京部会(第107回)

日時: 2019年2月27日(木) 19:15-21:15

場所: 慶応義塾大学三田キャンパス研究棟 446号会議室

参加者: [順不同・敬称略] 篠原、杉浦、岸、塙、中沖、中山、升野、藤牧、中村、加藤、新井の11名

1 19「春の教室」の準備の確認を行なった。

- ・現在の、申し込み状況は、約40名。本日東証のメルマガでも案内を配信されたので、関係者を含め60名を超える参加者にはなる可能性があり。東京、埼玉の研究団体への案内は依頼済み。
- ・報告内容の準備に関しては、河原、杉浦、大塚、3先生の報告はほぼ完成、安藤先生に連絡済み。
- ・前日準備、当日の流れなどを確認した。

2 19「夏休み経済教室」の準備を行なった。

- ・東京部会メンバーからの要望などを踏まえて、出席者から全体の統一テーマ、講演講師、講義、授業提案の候補などの意見聴取を行なった。
- ・3月半ばまでにプログラム骨子が決定できるように準備を進めることを確認した。

3 実践報告・教材提案関係

(1)参加者からの報告と検討を行なった。

1)杉浦光紀先生(都立井草高校)の「政治哲学と社会保障～正義と権利、自由と平等～」

- ・高校2年生対象「倫理」での実践。まず、社会保障とそのモデル(を提示し、自分ならどれが望ましいかを選択させ、その上で政治哲学の話をする。
- ・取り上げる思想家は、ベンサム、ロールズ、ノージック、センの4名。それぞれ、功利主義原理、格差原理、リバタリアニズム、潜在能力アプローチを代表する思想家である。
- ・4人のどれに共感するか、それと社会保障のモデルのどれが4人の思想と関係するかを考えさせる構成の1時間配当の授業である。
- ・検討では、論点を4つにするのは多すぎないか、また、各人の思想を取り上げる際にはそれぞれの反論も含めて二つの価値を提示する方がよいのではという意見がでた。
- ・思想家を先生が紹介するよりも、原典の抜粋を与えてそれぞれの思想家の言わんとすることを読み取らせることが大切ではないかとの意見もだされた。
- ・経済と倫理の関係にせまる授業として、生徒の反応の報告を期待するというで検討を終了した。

2)岸香おり先生(ICU高校)「消費税は公平な税か」

- ・3年生「政治・経済」向けの授業構想。今年の実践で、生徒のなかから消費税は公平な税だから望ましいという意見が出てきた。本当にそうかを考えさせたいとして構想した授業案である。
- ・授業の構成は大きく二つ。まず、様々な税(定額税、比例税、累進税、消費税)に関して、モデルとした社会(所得の違う6人の家計)での具体的な税率を数値与えて計算させる。消費税に関しては、平均消費性向と所得分布のデータをもちいて計算させて逆進性を確認する。



- ・第2段階で、無知のヴェールをもとに、6人のグループで、それぞれが偶然わりあてられた所得額での税額を計算して、税負担の公平さ、望ましい税の在り方を個人とグループで考えるという流れの授業である。
- ・検討では、モデルでもデータの信頼性が問われること、消費税の逆進性を問題にするという授業構想の当初の考えだけで進むと一つの価値判断を押しつけてしまう可能性があるのではないかという指摘がされた。
- ・モデルとした事例で、恐慌がおきて収入ゼロの人間でも消費をするという設定になっているが、そこでは再分配されたお金が投入されているので、そこを抜かして消費税の逆進性を印象づけるのはミスリードになるという指摘もされた。
- ・篠原代表からは、すべての既存の税を廃止して消費税だけで財政を行なう社会を考えると、消費税が累進性をもつモデルも考えられるとの示唆もあった。税を考える場合は、何のために、どのくらい必要なのか、それを何に使っているかという全体を踏まえて、公平な課税方法を考えさせると良いという指摘がされた。
- ・良い教材のなる要素を沢山持っている授業プランなので、今後のブラッシュアップを期待したいということで今回の検討は終了した。

#### 4 その他参加者からの実践報告・情報交換

- ・寺子屋(第5回)2月9日の概略のメモが配布された。
- ・教材(東北公益大学阿部公一先生作成:「年金ディベート道場」)のHP掲載依頼があった。検討のうえHPにアップロードすることになった。
- ・2018年度龍谷大学入試問題の中の1問が解答不能の問題ではないかという指摘があった。これを受けて問題のねらいが曖昧で複数の分析が可能であることを、エコノミストを交えて、確認した。

#### 5 全体として

- ・夏の教室のプログラム、2つの実践報告、授業プランの検討を中心にして、充実した部会となった。

(記録と文責:新井)

次回の開催予定、2019年4月25日(木)、5月14日(火)19:00~21:00。いずれも会場は慶應義塾大学三田キャンパス内会議室を予定している。